

平成28年度

原町第二中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 加茂秀子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

部活動が大変盛んに行われており、合唱祭やスポーツ大会などの学校行事に一生懸命取り組む何事にも活発な学校である。生徒、教職員全員が校内での挨拶を励行しており、毎日元気な挨拶が飛び交う礼儀正しく笑顔あふれる学校である。

学校図書館支援が始まって3年目となり、図書室の環境整備が進んだことから昼休みの学習や憩いの場としての利用が増えた。また、授業でも調べ学習や学級文庫の貸出が増えている。

平成28年度生徒数

1年	2年	3年	合計
74名	82名	92名	248名

(平成28年12月現在)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 石川裕子先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 10,888点

学校図書館受入点数(3月末時点) 578点

うち 市費購入点数及び金額 387点(610,288円)

うち 寄贈資料点数 156点

うち PTA費購入点数 35点

2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 除籍の必要な図書が棚に並んでおり、劣化している書棚がある。

1-2 課題 授業等での図書館活用や新聞活用が少ない。

1-3 課題 昼休みの図書室来館者は多いものの、貸出点数増加につながっていない。

2-1 目標 古い本は除籍し、破損箇所のある書棚について、図書担当教員と協議する。

2-2 目標 調べ学習や授業での図書室利用を促進するような企画やPRをし、積極的に先生方との関わりを持つ。

2-3 目標 昼休み時間を利用した図書室企画やPRを考え、貸出冊数の増加を目指す。

3 活動の方針

- ・担当教員と話し合った結果、貸出は4月から行い、第1回目の奉仕委員会において図書委員の生徒を対象に、図書の貸出・配架や分類についての説明を行うこととした。
- ・今年度は図書委員会と協働で図書だよりの発行を目指すこととした。
- ・昨年度見直した複本や古い全集の配架場所について検討する。
- ・劣化した棚の現状を把握し、対応策を考える。
- ・授業で図書館を活用できるよう先生方とのコミュニケーションをとり、PRしていく。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当教員との打合せ ・書架整理・廃棄作業 ・登録作業・テーマ展示 ・雑誌受入 ・調べ学習時の補助 ・市立図書館からの本の貸出、返却作業 ※これらの作業は年間を通して行う	・図書委員会（前期組織作り） ・昼休みの個人貸出 ・学級文庫貸出、返却 ・組織作り ・図書整理、貸出活動 ・学級文庫の設置と入替え ※これらの活動は年間を通して行う	・学校図書館支援員会議① ・図書の借用開始
5月	・図書便り作成①		
6月	・市費リクエスト募集	・学級文庫の入替え	・学校図書館支援員会議②
7月	・夏季休暇中の貸出に関する周知 ・図書便り作成② ・市費選書	・夏休み中の図書の貸出活動 ・新刊図書整理	・ライブラリーレター配布
8月	・書架整理 ・廃棄図書登録		・学校図書館支援員会議③
9月	・図書便り作成③ ・職場体験及び調べ学習時の図書館利用の準備、対応 ・市費リクエスト募集	・図書委員会（後期組織作り） ・学級文庫の入替え	
10月	・市費購入図書選書 ・読書週間企画	・学級文庫の入替え	
11月	・市費購入図書受入配架、周知 ・図書便り作成④ ・読み聞かせ実施 ・読書増進イベント実施		・学校図書館支援員会議④
12月	・冬季休暇中の貸出に関する周知 ・図書便り作成⑤	・冬休みの長期貸出活動	・ライブラリーレター配布
1月	・学校図書費選書	・新刊図書整理	・学校図書館支援員会議⑤
2月	・掲示物作成 ・学校図書費図書受入配架、周知	・後期活動の反省と引継事項の確認	・学校図書館支援員会議⑥
3月	・図書便り作成⑥ ・次年度計画作成	・図書の回収整理 ・図書の破損補修	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

通年業務（年間を通して行ったこと）

- ・雑誌の受入、装備を行った。
- ・本の選書、発注、受入、装備を行った。
- ・ラベルの貼替え作業、図書の補修を行った。
- ・書架整理、廃棄リストの作成を行った。
- ・企画展示を行った。
- ・図書委員会と協働して図書だよりを発行した。

4月

- ・特別支援学級に学級文庫設置。常時クラスに置きたいという要望があった。
- ・企画展示「春に読みたい本」の掲示物作成と本の展示をした。

- ・杉並文庫としてまとまっていた本を各分類に配架し直した。杉並文庫として使用していた棚に9類読み物を配架した。
- ・スチール棚の隣にあった棚を入り口近くに移動した。(写真1、2)



写真1
スチール棚を
ふさぐようにな
っており、採光の
妨げになっていた。



写真3
貸出頻度の多い9類、読み物が一番奥に配置されており、暗く狭く探しにくい状態だった。



写真2
書架を移動したことで、明るくなり奥にも出入りしやすくなった。



写真4
入り口近くの開放的な場所に9類、読み物を配置した。面出しが生かされ、本が借りられるようになった。

- ・9類書架を入り口近くにした(写真3、4)ことで貸出利用が増えた。スチール棚は知識と9類全集のみの配架となった。
- ・本棚を移動し明るくなったこと。空いたスペースに読書椅子を設けたことで、昼休みの図書館来館者数が増加した。(写真5、6)



写真5、6
狭いながらも明るくなったことにより、落ち着いて読書をする空間になった。この空間は特に男子生徒の利用が多い。



- ・2 学年国語科単元名「メディアと上手に付き合うために」様々なメディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する。図書室にて調べ学習を行った。興味を持った職業について本やインターネットで調べた。この単元の図書館を使った調べ学習は計3 回行った。

(写真7)

- ・保健室前におすすめ本コーナーの設置をした。
- ・図書委員会にてカウンター作業の説明、オリエンテーションを行った。

5 月

- ・支援学級2 学年社会科授業（地理）で様々な国について調べ学習の依頼あり。市立図書館から団体貸出をした。
- ・2 学年社会科担当教諭との話し合いにて「朝日中高生新聞」を2 学年廊下に展示することになった。案内POP の作成。関連本の展示を行うこととした。(写真8)
- ・調べ学習に利用できるように、相双地方や日本各地の観光パンフレットをファイリングした。社会科地理の学習や総合的な調べ学習で活用した。



写真7
国語科「メディアと上手に付き合うために」職業調べをしている様子。資料はあらかじめ机に準備した。



写真8
2 学年社会科の授業で、教諭が廊下に展示した新聞の活用についての説明をした。授業内容に合わせて関連本の展示を行なうことで、図書の活用ができた。

- ・教職員向け学校図書館便りを発行した。
- ・課題図書の受入をした。
- ・9 類を移動したことにより、0 類～8 類の棚の配架を見直した。
- ・2014 年分の雑誌バックナンバーを一般書架に配架した。
- ・リクエスト用ポストの設置をした。(写真9)
- ・教職員へ「図書購入希望リクエストのお願い」の配布をした。
- ・1 学年先生より、道徳の時間を利用して図書室の貸出や利用についての注意点を教えてほしいと依頼があった。(依頼が担当曜日でなかったため対応できなかった。)
- ・企画展示「部活動特集」設置をした。(写真10)



写真9
リクエストポストを設置し生徒の読書傾向をうかがい知ることができた。リクエスト本の購入については、担当先生と検討しその都度発注した。



写真10
どの部活動に入るか迷っている新入生が見受けられたことから企画した。スポーツの読み物も合わせて展示した。1 年生の利用が多かった。

6 月

- ・学習コーナーに検定試験関係の図書を配架し、英検や漢検が実施される日付を表示した。
- ・課題図書の案内のポスターを図書委員と作成し掲示した。課題図書の展示と紹介POP の作

成を行った。

- ・「1 学年総合的な学習の時間、南相馬市について調べる」についての説明と対応の依頼あり。資料の準備。図書室で生徒たちの相談に乗り、テーマ決定の助言をしながら、該当する図書の貸出を行った。
- ・梅雨時期で「ぬりえギャラリー」を設けた。
- ・図書委員会にて、図書委員会発行の「図書だより」作成について説明する。図書だより作成マニュアルを作成し、誌面の割付や取組み方について説明・指導を行った。
- ・国語教科書掲載本の選書を行った。

7月

- ・3 学年「総合的な学習の時間 教科についてまとめる」について、毎週水曜日 6 校時に図書室にて調べ学習を行う。手作り楽器、理科、植物、生物など各自いろいろなテーマを設定しているため、図書室資料の 0 類から 8 類まで幅広く活用した。
- ・1 学年「総合的な学習の時間南相馬市について調べる」について、決定したテーマの資料に基づいた資料準備を行った。毎週水曜日 6 校時に 1 階ホールに資料を準備し、調べ学習を支援した。
- ・校長先生より、中教研において原二中での取組みについて発表してほしいとの依頼あり、実施し夏休み期間中に実施した。
- ・1 学年「国語科単元 私が選んだこの 1 冊 読書紹介をしよう」にて図書室を活用した授業を行った。支援員が「POP の作成について」の説明や注意点を説明し、まとめの作業のアドバイスをを行った。(写真 1 1、1 2)
- ・見出し表示作成をした。(写真 1 3)

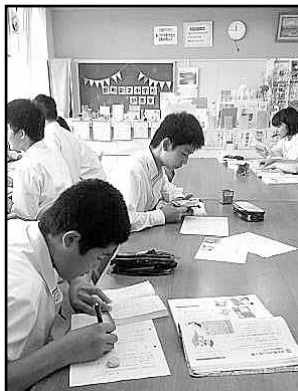


写真 1 1
出版者になったつもりで、お客様が興味を持つような本の紹介を考えている生徒。本は各自持参したり図書室図書の中から選んだ。



写真 1 2
国語科単元「私が選んだこの 1 冊 読書紹介をしよう」で完成したPOP。

9月

- ・学級文庫用の本棚を設けた。黄色の○シールを貼り、一般の図書と区別できるようにした。学級文庫各クラス 10 冊のうち 4 冊以上をこの棚から選んでもらうこととした。(写真 1 4)



写真 1 3
見やすく作成した見出し表示。



写真 1 4
学級文庫用図書。図書委員が学級文庫を選び出しやすくなった。

- ・1学年総合的な学習の時間で市立図書館を利用した。市立図書館職員の協力を得てレファレンス対応を行った。(写真15)

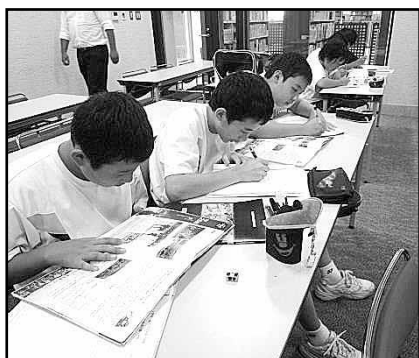


写真15
市立図書館研修室にて、地域についての調べ学習を行った。資料を活用しまとめている様子。



写真16
読書週間企画を10月から11月末まで行った。この期間中の貸出冊数が増加した。

10月

- ・図書委員会図書だよりの発行。
- ・ふくしま未来アカデミー寄贈図書の選書。
- ・読書週間期間に合わせ、図書室にて様々な企画を行い読書の向上に努めた。(しおりのプレゼント、身長計の設置、勝手に読み聞かせ会の実施)(写真16)

11月

- ・1年生国語科单元「故事成語」について調べ学習資料の準備
- ・3年生国語科单元「ことわざ」について調べ学習資料の準備。
- ・夏目漱石没後100年の企画展示として、「夏目漱石を読んでみよう！」コーナーを設けた。(写真17)
- ・図書だより掲載の「先生のおすすめ本」を展示した。(写真18)



写真17
なかなか手に取ってもらえない本も企画展示することで、読むきっかけとなった。

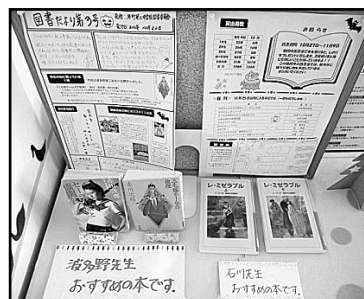


写真18
図書だよりに掲載した先生おすすめ本の展示。

12月

- ・支援学級社会科「伝記」の調べ学習用資料を準備した。
- ・2学年冬休み学習用の資料「南相馬市の歴史・人口・産業・伝統・自然」についての資料を準備した。
- ・新年1月の企画「本みくじ」の作成。(おみくじには本の紹介文を載せた。)
- ・生徒達に書いてもらったブラックボードを図書室前に設置した。(写真19)



写真19
図書委員が、案内ボードに季節の企画展示のお知らせを書いている様子。中学生の感性で、同年代に伝わりやすい仕上がりとなった。

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・本の分類の確認。
- ・選書、展示物や配架のアドバイス。
- ・季節飾り・展示用スタンド（ポップスタンド・ブックスタンド）の作成。
- ・学校図書館への貸出点数 489点／年

6 学校図書館利用実績

（１）年間貸出点数

① 個人貸出点数 (単位：点)

	1 年	2 年	3 年	総合計
年間合計	357	213	96	666
一人あたり	4.8	2.6	1.0	2.7
一人あたりの 昨年度比	369%	289%	200%	338%

※ 1 人 1 冊 1 週間の貸出。夏・冬休みは 1 人 3 冊の貸出。

② 学級文庫貸出点数 (単位：点)

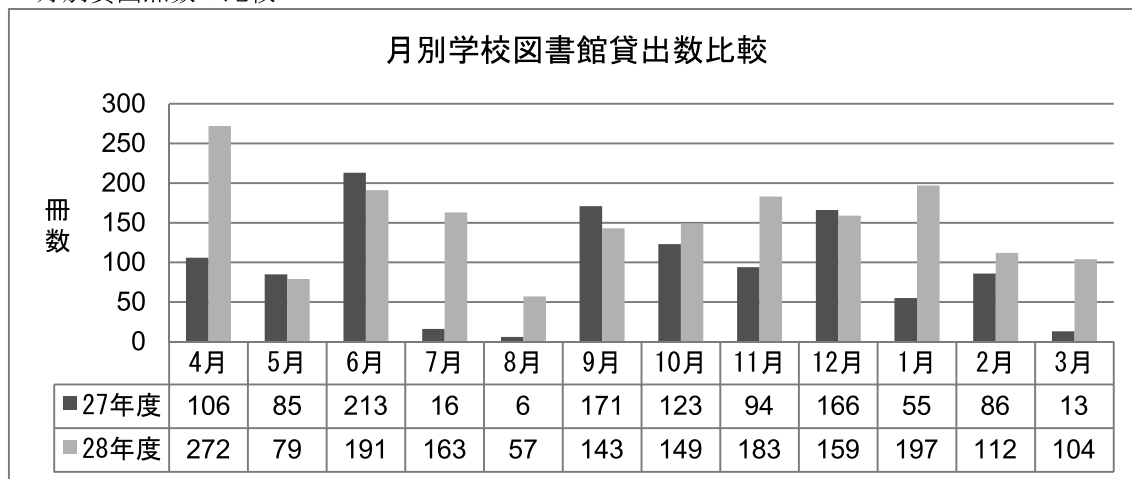
	1 年 (3 クラス)	2 年 (3 クラス)	3 年 (3 クラス)	支援学級	総合計
学年合計	126	126	124	155	531

③ 調べ学習等貸出点数 (単位：点)

	1 年 (3 クラス)	2 年 (3 クラス)	3 年 (4 クラス)	支援学級他	総合計
学年合計	163	267	93	89	612
昨年度比	86%	545%	58%	405%	146%

（２）学校図書館利用実績比較

月別貸出点数の比較



利用頻度の高い9類、読み物の棚を入口近くの広い場所へ移動したことにより、見渡しやすく手に取りやすくなったことから読み物の貸出数が増加したと思われる。

今年度はブックポストを設置し、生徒の要望に応じることができたため貸出冊数増加につながった。新着図書が入る都度、図書委員会の生徒と連携し、案内ポスターを制作、廊下に掲示したことで生徒が図書室へ来るきっかけとなった。

また、担当教員との連携が円滑にできたことにより、支援員が奉仕委員会に参加し、直接生徒へ働きかけができたことが学校図書館の利用増加に結びついたと思われる。

支援学級や保健室で、定期的に学級文庫としての利用があった。調べ学習において主に国語科、社会科での利用が増加した。教職員との連携により、授業で必要としている資料を事前に準備できたことや、調べ学習での図書室（人数が多い場合はホール）の利用回数は10回以上であったことから学校図書館を学習センターとして活用できたことが増加につながったと考える。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

（1）本年度の成果

- 3-1 古い本を整理することで、破損している書棚について把握することができた。図書担当教員をはじめ、先生方と話し合い、破損している書棚を新しいものにすることとなった。
- 3-2 教科書の改訂に合わせ、教科書掲載図書を重点的に選書した。国語科、社会科については各教科のシラバスを考慮し選書を行い先生方へ紹介することで、調べ学習用図書が活用にされた。今年度から購入した「中高生新聞」は、関連図書とともに廊下に展示することで、社会科授業での活用につながった。
- 3-3 秋の読書週間や夏・冬休みの長期貸出時には、必ず校内放送で周知徹底した。また図書室入口に案内ボードを設置したり、廊下へのポスター掲示によりPRをした結果、貸出冊数増加につながった。

（2）来年度に向けた課題

- 4-1 新しい本棚の設置により、配置換えが必要である。生徒の目線で考えた明るく利用しやすい図書室にするため、担当教諭や教職員と検討を重ね図書改造を進めていきたい。
- 4-2 各教科での、授業への図書館活用の拡大を図り、学校図書館を活用した授業実践の増加を目指したい。
- 4-3 新学期時の図書館オリエンテーションの実施を行い、図書館利用が活発になるよう働きかけたい。